

会議録

- 1 附属会議の名称
第2回犬山市児童福祉施設等整備検討委員会
- 2 開催日時
令和3年5月15日（土）午後1時30分～3時05分まで
- 3 開催場所
市役所5階 501会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 関谷みのぶ、橋村晴美、若井友美子、大濱はる菜、本田菜央子
長瀧貴栄、杉本美江、荻野弘美、木村和美、原康眞佐、佐橋智康
林和子、大塚智美、中村美和、鈴木努、松本恵、宮田賢輔、細江英明
 - (2) 執行機関 長瀬子ども・子育て監、上原子ども未来課長、伊藤主幹、青山課長補佐
石井統括主査
- 5 議題
グループワーク
◎テーマ「橋爪・五郎丸新子ども未来園」に期待すること
 - (1) 屋内空間について
 - (2) 屋外空間について
- 6 傍聴人の数
0人
- 7 議事内容
【上原課長】

定刻になりましたので、只今より第2回犬山市児童福祉施設等整備検討委員会を開催させていただきます。進行は、教育部子ども未来課長の上原が務めさせていただきます。よろしくお願ひします。本日は、4月に開催しました第1回委員会に引き続き、ご出席いただきありがとうございます。

愛知県においても、現在、緊急事態宣言が発令されている状況ではありますが、本日は、新型コロナウイルスの感染予防対策として、マスク着用とアクリル板の設置、そして換気をさせていただいておりますので、ご了承ください。

それでは、早速ですが、本日の資料の確認をさせていただきます。

本日の資料は、

次 第

【資料1】 犬山市 橋爪・五郎丸新子ども未来園整備事業
計画（素案）第3章整備の基本的な考え方より

【資料2】 グループワークテーマ

【資料3】 現在の橋爪・五郎丸子ども未来園の様子

【資料4】 グループワークについて の以上になります。

それでは、以後の進行を関谷会長にお願いしたいと思います。関谷会長よろしくお
願いします。

【関谷会長】

ここからは私が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。早速入り
たいところではありますが、みなさん適宜水分等お持ちでしたら、水分補給など
していただきながら、随分と暑くなってきましたので、ワークが始まりますとこの
部屋も活気づくかもしれませんので、換気はされておりますけれども、水分補給し
ながらお過ごしください。

では、まず本日の委員会の会議録の署名者を2名指名させていただきます。若井委
員と本田委員でよろしくお願いいたします。それではグループワークについて事務局
より説明をいただきますが、その前に、グループワークという形式で進めさせてい
ただきますが、本日の趣旨を少しだけ簡単にお話しさせていただきたいと思いま
す。みなさんと共に新しい未来園を考えていきたいというねらいでこの委員会をス
タートさせていますが、なかなかいつものみんなの座っている状況ですと、思い描
いているものがあってもなかなか発言ができないですとか、こんなこと言っていい
のかと上手に伝わらないで終わってしまい非常に勿体ないと感じておりますので、
少し小グループでみなさん自身が何となく考えていることで構いませんので、共有
していきたいと思っています。その方法の1つとしてグループワークという形とし
て小グループでみんなの意見が出やすい形で、こういった中で対面でやるのはなか
なかですが、対策する形で進めさせていただきたいと思います。研修ではありません
ので、それぞれの立場での想いというものを積極的に出していただければと思い
ますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、グループワークについて、事
務局より説明をお願いします。

【石井】

みなさんこんにちは。子ども未来課で保育園・幼稚園担当をしております石井と申し
ます。私の方から本日みなさんに行っていただくグループワークについてご説明さ

させていただきます。

本日お配りしました資料4「第2回児童福祉施設等整備検討委員会のグループワークについて」をご覧ください。すでにグループ形式で4つにわかれてお座りいただいております。あらかじめ、事務局の方で、グループ分けをさせていただきました。

Aグループは地域の代表のみなさん、Bグループは子どもの保護者のみなさん、Cグループは福祉・医療を代表するみなさん、Dグループは、AからC以外の多業種のみなさんです。各グループの①の方に、本日のグループ内の進行役をお願いしたいと思います。Aグループ橋村委員、Bグループ大塚委員、Cグループ中村委員、Dグループ松本委員です。よろしくお願いいたします。

続いて、資料2をご覧ください。

2分の1サイズの資料になりますので、上段下段のページ数をご確認いただきながら、説明をお聞きいただきたいと思います。

1ページです。本日のグループワークのテーマですが、「橋爪・五郎丸新子ども未来園」に期待することとして、犬山市としてはじめて統合する新しい園について、どんな園にしていきたいかということをお委員のみなさんと一緒に考えていきたいと思っております。

2ページをご覧ください。グループワークは、2つのことについて、ワークショップを行っていただきます。1つ目は「屋内空間」についてです。屋内空間といっても、かなり範囲が広いので、①～④の4つの項目について、意見をいただきたいと思います。①の保育室は、こどもたちの園生活で大半を占める時間を過ごす部屋になります。②の遊戯室は、生活発表会や何かのイベントだけでなく、保育室でできないような広いスペースを使った集団遊び、雨の日の遊び場になったりします。③の地域交流室は園庭開放として、園に入園していない地域の子どもたちが遊びにきたり、園によっては、町内会の集まりに使っていただいたりしています。④のその他は、①～③以外の例えば、トイレやテラス、職員室や調理室等です。

つづいて2つ目に「屋外空間」についてです。3ページをご覧ください。屋外空間については、①園庭、②駐車所、③その他として意見をいただきたいと思います。

つづいて4ページをご覧ください。それぞれの項目についての意見は、1つの意見を1枚の付箋に書いていただきます。テーブルに赤・青・黄色の付箋を用意させていただきます。改善してほしいものや改善してほしいことについての意見は赤付箋に。欲しいものや欲しいことについての意見は青付箋に。疑問や質問については黄色付箋にというような形で、意見の内容について、付箋の色を分けて書いてください。どんな小さなことでもいいので、思いつくことを付箋に書き出してください。意見をいただくための参考として、資料3になりますが、現在の橋爪・五郎丸子ども未来園の様子として、2つの園の様子を写真でまとめてあるものと、テーブルに何冊か保育雑誌等を置かせていただいております。

最近建てられた保育施設や人気の保育施設等を見ていただければと思います。

ワークショップでのお願いということで、お1人お1人付箋に意見を書き出しいただいた後、グループ内で意見の共有をしていただきます。

グループ内でお1人ずつ発表しながら模造紙に貼り出して、同じ意見や似ている意

見をまとめていただきます。

5ページをご覧ください。グループ内で意見を共有いただく際に4つのことをお願いします。①意見の批判をしないこと。②人の話を最後まで聴くことを大切にしてください。③グループ内のひとりだけで意見をだすのではなく、参加型ということで全員で意見を出してください。④面白い意見があれば、そこからまた広げていってください。以上の4つのことをお願いします。

つづいて、6ページをご覧ください。模造紙のまとめ方ということで、各テーブルに模造紙や色マジックを用意してあります。

1つ目の屋内空間と、2つ目の屋外空間についてグループごとに模造紙にまとめていただきます。模造紙にはグループ名(Aグループ、Bグループ)を書いてください。グループごとに2枚模造紙を用意してありますので、自由に使ってください。

2つのワークショップの内容が整理できるような形でまとめていただけるといいと思います。屋内空間、屋外空間のワークショップでそれぞれ20分ずつ時間を設定していますので、模造紙にまとめるところまで進めてください。20分経過したところで、事務局よりお声かけさせていただきますので、よろしくをお願いします。

つづいて、7ページをご覧ください。2つのワークショップでグループごとにまとめていただいた模造紙を使って、全体での共有ということで、グループごとの発表をしていただきます。1グループの持ち時間は5分を予定しています。

発表者については、こちらから指名はしませんので、グループ内で決めていただきたいと思います。

コロナの感染対策として、アクリル板を設置していますので、ワークショップをするのに大変進めにくいと思いますが、申し訳ございません。みなさんグループ内でご協力いただいて、限られた時間の中で進めていただきたいと思います。

つづいて、8ページをご覧ください。次回のワークショップについてですが、本日も行っていただきますワークショップでの意見を事務局でまとめさせていただきます。前回、第3回目の委員会では、本日の意見を踏まえてゾーニングを検討していただくと説明させていただきましたが、予定を変更したいと思います。本日ワークショップでの意見を事務局でまとめさせていただいた後に、今後基本設計等を進めるにあたって、項目ごとにどの意見を優先的に考えていく必要があるのかということを検討いただく時間としていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

説明は以上になります。

【関谷会長】

ありがとうございました。ただいま事務局より説明いただきました。何か質問等ございますでしょうか。

【原委員】

正直に言って、保育園が今どういう状況なのか実態が分かってないんですが、その中で改善したいことや欲しいものとか言われても意見が出せませんが、どうしたらいいですか。

【石井】

お配りしました資料1を使って、現状の保育園の話を少しさせていただきたいと思います。ただし、それだけで全て内容は分からないと思いますので、地域という視点で新しい園に対して欲しいものという視点で考えていただいてもいいのかと思います。

【原委員】

改善したいものやほしいものと言われても、現実今あるものないものが掴めていないのに、羅列するわけにはいかないでしょ。ここから意見なんだけど、前もってこういうことをやられるのであれば、一度みんな集まって見に行くとかそういうことを計画するべきだと思います。集めてこれでワークやってくださいというのは、少し行き過ぎかと僕は思います。

【石井】

すいません。配慮が足りなかったようで大変申し訳ございませんでした。例えば今回グループを4つに分けさせていただいております。今の園を一番よくご存知のグループがBグループの保護者の代表のグループになると思うのですが、色々な視点があると思いますので、今原委員が言われたように、現在の園が分からないのに改善するべき点というのは意見が出にくいと思います。そうであれば、新しい園に期待すること幅広い意見をいただければありがたいと思っております。よろしくお願ひします。

【関谷会長】

ありがとうございます。それでは続いて資料2を事務局よりご説明いただきたいと思います。

【伊藤主幹】

子ども未来課の指導保育士の伊藤と申します。よろしくお願ひします。それでは、お手元の資料1と資料3の写真の方を使って、お話をさせていただきます。まずは、資料1です。こちらには基本となるコンセプトが書いてあります。このコンセプトには、犬山市で働いている保育士が、現在の子ども未来園の建物や環境、そして、子どもたちの状況をふまえ「新しい園を建てるとしたら、こんな園にしたい、今の園のこんな部分を改善して建てて欲しい、これからの子どもたちが育つ場、園としてこんな環境が良い」という視点で考えた項目をあげてあります。コンセプトは大きく3つの柱があります。まず1点目は、遊びを通しての多様な体験機会の確保、3ページで2点目は、自然と共に生きていく環境、3点目は、明るく快適な暮らし空間の以上の3つを大きな柱としています。つづいて、資料3の現在の園の写真の方を見ていただきます。現在の橋爪子ども未来園と五郎丸子ども未来園の写真があります。ここにお集まりの皆様は、お子さんが子ども未来園に通っているという事でなければ、未来園は門の外から見る程度で、園内、室内の様子、子どもたちが生活している姿をみる機会はある

まりないと思います。こちらの写真も参考に観ていただきながら、子ども未来園をイメージしていただければと思います。現在の子ども未来園は、ほとんどの園が早朝7時から夜7時まで開園しており、子どもたちは、保護者の就労時間に応じて、1日の大半の長い時間をこの写真のような環境の中で過ごしています。前半部分が橋爪になりますので、5枚ほどはねていただきますと五郎丸が出てきます。0歳児保育の写真があります。0歳児保育は、生後57日から受け入れをしていますので、ミルクを飲んで寝るという赤ちゃんもいれば写真の様にハイハイで動き回る子もいます。次ページには、1歳児、2歳児の保育室の写真があります。橋爪子ども未来園の写真1～2ページ目にも未満児の保育室やトイレなどの環境が載っています。

未満児の部屋は、家庭に近いゆったりとした雰囲気でも過ごせるよう、畳やじゅうたん敷きになっています。前の方に戻っていただきますと橋爪子ども未来園の様子があります。幼児の保育室は、橋爪の写真では3ページ、五郎丸の写真では4ページ目にあるように机といすを配置していますが、常に椅子に座って活動するわけではなく、子どもたちの遊びの様子に応じて、ござを敷いたり、遊びに使える用具などが置いてあります。その他、橋爪子ども未来園には、4ページの写真のように子育て支援センターや一時保育室があります。五郎丸子ども未来園、写真の5ページには、地域交流室があり、子ども未来園の園児、保護者以外の方が利用できる場所もあります。写真の地域交流室は、主に未就園の親子が遊べる空間になっていますが、他園にある地域交流室は、会議机といすが配置してあり、地域の方が会合などで使われることもあります。このような子ども未来園の現状、そして、子どもたちの育ちを考え、こちら資料1のコンセプトの中でも特に①の遊び場、子どもたちが過ごす空間の部分はとても大切と考えています。

子ども未来園は、学校のような長期休みはなく、夏の暑い時期、寒さの厳しい冬、雨の日、晴れの日、1年を通して園で過ごすことになります。

コンセプト①の1つ目の○に書いてある、芝生の園庭は転んでもケガをしにくく、子どもたちがのびのびと身体を動かすことができ、夏の暑さも和らげてくれます。

2つ目は、多様な遊び場についてです。梅雨の時期は、一日中、室内で過ごすことも多く、保育室だけでなく、遊戯室やテラスなど園内の様々な空間を遊び場として有効に利用したいと考えます。遊び空間の考え方は、雨の日に限らず、子どもたちの遊びがより豊かになるよう、自由な発想で創造性豊かな育ちにつながるためにも様々なアイデアを出しながら、作っていきたいと考えています。

コンセプトの①、3つ目の○には、子どもたちの年齢や発達の視点が書いてあります。子ども未来園では、0歳から6歳までの年齢の子どもたちや障害など特別な配慮が必要な子どもたちが一緒に生活しています。そのため、体のつくりや動き、発達の違いが大きい子どもたちが、安全、安心に遊べるよう、室内、戸外共に未満児エリア、幼児エリアを分けた配置が確保できる環境を考えます。

コンセプトの2つ目の柱は、自然とのかかわりの視点です。

子どもたちは、既成の玩具だけでなく、身の回りにあるものすべてが遊び道具となります。草や花、木の実を使って遊んだり、虫を捕まえて飼育、観察をしたり、自然の風、匂いを感じるなど、五感を使って遊び豊かな感性が育まれる環境にしたいと考え

ています。

そして、3つ目の視点は、暮らしの空間の視点—明るく快適な暮らし空間です。一日の大半を園で過ごす、園児や保育者が使いやすく、快適な空間。安全、安心面への配慮、仕事と子育てで忙しい保護者の目線、園児、保護者だけでなく、地域の方が利用しやすい空間を作っていきたいと考えています。以上がコンセプトについての説明です。

【関谷会長】

ありがとうございました。それでは、時間も限られておりますので、早速グループワークに入っていきたいと思います。いきなり意見を出していきましようと言っても、さきほど原委員からご意見いただきましたように出しにくいということもありますので、少し意見を出す練習をしていきたいと思います。各グループに白い何も書かれていない紙があると思います。みなさん1枚ずつお持ちいただけますか。縦に置いていただいても横に置いていただいても構いません。今から「保育園」というワードに対してみなさんの頭の中にあることを何でもいいです。保育園と聞いて、イメージすることを少し書き出していただきたいと思います。単語で書いてください。一つだけみなさんに共通して書いていただきたいことがあります。保育園からイメージする色を思い浮かぶものを、それ以外はものであったり、人であったり、ことであったり、何でも構いません。少しイメージすることを今から2分間で書けるだけ書いてみてください。いくつでも結構です。

【2分間経過】

【関谷会長】

はい。ストップしてください。また書き足りないことがある方は、あとのワークのところでどんどん出してもらっていいですが、グループの中で、自分がどんな意見を書いたというのを見せてもらうといいと思います。緑とありますね。緑の外壁が素敵かなとそれぞれワークに詰まったときは、このワードをもとに、話を進めていただいてもいいかなと思います。それぞれ具体的に書かれていらっしゃる方もいれば、イメージとして書かれている人もいます。感情であったり、具体的なものであったり、それぞれイメージされていることが違います。それぞれみなさんの頭の中に出てきたものを大事にしてください。具体的な今日のワークの中に入れていただけたらいいと思います。みなさん、頭の中に意見が出ないと思って参加された方もいらっしゃるかもしれませんが、たくさん種はありますので、それをぜひ模造に書き出して行って、ここに何かを残して行っていただきたいと思います。みなさんの出された意見というのはこれから新園を建てるに当たって、ものすごく大事なものになりますので、ぜひ積極的に参加をしていただきたいと思います。それぞれの立場でわからないというところは、積極的に質問をしていただいてもいいと思います。黄色の付箋をしっかりと

活用していただいてもいいと思いますので、ぜひよろしく申し上げます。それでは、これからグループの進行係の方をお願いしたいと思います。

【グループワーク（40分）】

【関谷会長】

それでは、そろそろ時間になりましたが、今話をしているところのキリのいいところまで話をしていただいて、どなたが発表していただけるか少し選んでおいてください。時間の関係もありますので、本来であれば2つのテーマをそれぞれ話をさせていただきたいのですが、どちらか1つと決めさせていただきます。A・Bグループは屋内の発表を、C・Dグループは屋外です。発表する内容等も含めまして、今から30秒ほど時間をとりますので、少しまとめてください。それぞれ発表していただく内容というのは結論は言っていたかなくても結構ですので、どんな意見がこのグループで出てきたのかという情報共有をしていきたいと思います。では、Aグループからお願いします。

【橋村職務代理】

Aグループは屋内ということで発表します。まず保育室です。こちらは乳児と幼児とありましたけれども、幼児組というところを限定して話し合いを進めました。保育室は床が固いので、やはり柔らかくした方がいいのではないかなというように、のびのびと広い空間を作ること。そして部屋の中に手洗い場があると望ましいのではないかなというように、今後異年齢保育ということを考えてパーテーションを付けて子どもたちが交流できる場をきちんと確保していくことが望ましいのではないかなということでした。続いて、遊戯室についてです。遊戯室に関しましては、現在必要じゃないものが結構置いてあると思うので、倉庫を作って持ち物を整理するようにしていくといいのではないかなということでした。やはり子どもたちが集まる場所なので、採光に気をつけて、光がたくさん入るということをしっかりと意識して作っていただきたいと思います。続いて、地域の交流の場として使うところですが、現在大人用の椅子がないので、大人用の椅子もきちっと準備していただいて、話し合うというときに大人がちゃんと話せる環境を準備していただきたいということでした。地域の子ども未来園として利用できるということなので、スペースの整理はいいですが、相談ができるワーカーさんを配置できるのですかということでした。相談ができる場所があってもそこに相談ができるワーカーさんがいないと話にならないのではないかなということでした。トイレについてはもっと明るくした方がいいのではないかなということで、子どもたちが行きたくなるようなお手洗い、行きたくなるような職員室にしてほしいということと、トイレを衛生面上フタは絶対必要ではないかというご意見をいただきました。テラスも作っていただいて、子どもたちが雨の時でも遊べるようにしたほうがいいのではないかなということでした。

【関谷会長】

ありがとうございました。続いてBグループよろしくお願いします。

【大塚委員】

Bグループです。保育室では扉や網戸の話がよく出ました。子どもが扉を閉めたりするとき指を挟んだりして事故になることがあるので、指を挟まないようなドアや網戸も今は付いているところを付いていないところがあって、虫が入ってきてしまうことがあるので、全てに網戸が付いているといいと思います。ドアの鍵が低い位置にあるので、子どもがその鍵で遊んだりしてしまうことがあるので、子どもの手が届かない位置に鍵があるといいと思います。みんなで意見が揃ったのは保育室に床暖があるといいかなというところでした。特に未満児クラスだと床がすごく冷たいので、床暖を付けていただきたいのと、今絨毯の部屋ありますが、その絨毯が衛生的にどうなんだというところもあるのでフローリングにしていきたいと思います。あとは、収納の面で、保育室に収納をたくさんつけていただきたいということと、可動式のロッカーがあるといいと思います。次に遊戯室ですが、遊戯室の床が滑りやすく危険なところと、冬はとても寒いので、冷暖房をきちんとしてもらえるといいかと思えます。地域交流室については、地域の方と交流したりとか未就園の方とも交流できるようにフレキシブルに使えるようにした方がいいと思います。その他会議机やイスも使用すると思えますので、その辺りの収納もスマートにできるといいと思います。最後その他でよく意見が出たのが給食室です。給食を作っているところが子どもが見れるとかランチルームとして給食を食べる部屋があるといいと思います。雨の日に園に来た時に、保育室に行くまでにすごく濡れてしまうことが多いので、雨でも靴下とかが濡れないテラスや雨が降り込まないようなベランダにしていきたいという話がありました。以上です。

【関谷会長】

ありがとうございました。それではCグループお願いします。

【木村委員】

Cグループは園庭と駐車場についてです。まず園庭ですが、今芝生ということですが、園庭では作物を少し作って、観察、収穫、調理、食べるということができるよう一貫して自分たちが育てたものを食べる。好き嫌いをなくすことに繋がるのではないかと思います。調理室も調理員さんに感謝を述べられるといった空間があるといいと思います。食べることばかりですが、給食室が見回せるようなところ。ここで洗ってここで何か作業しているねというところで、食育に繋がっていくと思います。木陰ができるような大きめの木が植えてあるといいと思います。原さんが前に仰ったんですが、草抜きとか地域でやっているということなので、年長さんくらいになると草か芝生が分かるようになってくるので、園児にも草引きをさせてどんな名前の草かなと草にもいろいろ名前があるので、それも植物、生きるということに繋がるのではないかという感じです。自由に遊べる園庭の池を作ってはどうかと思います。職

員室からすべてを見渡せる職員の目の行き届いた、園児からは先生たちが見てくれているという安心感がとれるのではないかと思います。園庭では、土の感触を知るために、安全なことばかりではなく土いじりもできるようなところも作っていただくといいです。農業については、地域の方たちと交流して収穫祭とかやったときに、地域との関わりというときに、何もないとなかなか来てもらえないので、地域との交流はそういうことを通して、園で収穫したものを地域の人たちと交流を深めるということです。調理員さんからも子どもの様子が見やすいので、この子たちに食を提供しているんだということも含めて食育になります。あと駐車場については、動線を考えてやっていただきたいです。晴れている時ばかりではないので、雨の日の声を反映していただきたいと思います。あとは周りの交通規制ですね。175人いらっしゃるということなので、大混乱するかもしれないので、スムーズに受け入れができるような形で、登園時にドライブスルー方式にして、例えば学年別にして駐車スペースを設ける。そして、今月は年少さんはドライブスルーでいいよとか、年長さんドライブスルーでいいよとか、公平を保ちながら園に行きたいと思えるそんな感じのことができるといいと思います。

【関谷会長】

ありがとうございました。最後にDグループお願いします。

【松本委員】

Dグループです。すでがいいことをおっしゃっていただいたので、私たちも重なるところもあるのですが、すいません。聞いてください。まず園庭について発表させていただきます。私たちDグループは子ども目線の話が多かったところがあると思います。芝生の話が出ましたが、芝生だけではなく、木の近くにも野原の刈り込みのようなスペースを作って、一年中季節を感じながら野花にも触れ合えるような空間があったらどうかという意見がありました。平面で単一の景色ではメリハリがなくなってしまうのではないかということで、欲しいものとして出ていたのが、園庭の方に土や池や土で盛った山や自然を感じられるような空間を作って、そこで子どもたちが泥んこになりながら、遊べる日があっても楽しいのではないかと思います。つづいて、駐車場に移りまして、さっきドライブスルーといういい意見が出ていましたが、私たちも一方通行で、入口と出口を分けるですとか、車と歩道の分離をすとか、接触を防ぐようなことが必要ではないかという意見が出ました。あとは駐車場のスペースに関しましては、ファミリーカーも幅が広がったり大きかったりするので、スペースは少し広めにとった方がいいと思います。あとその他の部分では、園に繋がる道路の部分で不安があるということで、道路の拡幅を考えた方がいいのではないかということでした。セキュリティ、ハード面、ソフト面の話が出ました。外から園児が遊んでいるところが見えたり、プールとかもあると思いますので、そういったところのハード面のセキュリティやアプリとかの管理がどうなっているかという疑問が出てきました。

【関谷会長】

ありがとうございました。限られた時間の中で非常に多くの意見が出されたと思います。それぞれみなさんに共通しているのは、繋がりをいかに作るかということだと思います。人との繋がりがったり自然との繋がりがったり、犬山市が大事にしている遊びを通してそれをどうやって実体化していくかということだと思います。出された意見の中には、具体的な提案もあれば、理念として期待したいというところもあったと思います。それぞれ日本の子どもが育っていく環境に対して社会問題化しているようなところにも対応しているような提案であったり、理念としてのご意見等をいただけたと思いますので、次回のところでは、重なるところは優先度が高くなったりどうしたらそれが具体化していくかとかいうことを考えていけたらいいと思います。限られたところたくさんの意見を出していただきありがとうございました。ここでグループワークを終了したいと思います。それでは事務局にお返しします。

【上原課長】

みなさんおつかれさまでした。関谷会長の進行と委員の皆様のご協力により、非常に有意義な会となりました。これで本日の議題を終了しますが、最後に子ども・子育て監の長瀬よりあいさつを申し上げます。

【長瀬子ども・子育て監】

長瀬です。4月のときは参加できずに申し訳ございませんでした。今日のワークショップでは色々な意見を拝見させていただきました。本来ですと、原委員のお話にもあったように、事前に未来園を見学していただけると良かったと思います。配慮が足りずに申し訳ありませんでした。6月の第3回の前に、もし参加していただけるのであれば手配をしたいと思っておりますので、またご案内させていただきますので、よろしくお願ひします。全員参加という訳にはいかないでしょうが、都合が合えばぜひ参加していただきたいと思います。今日は色々長時間に渡りまして、ご意見・ご質問いただきまして本当にありがとうございました。また来月取りまとめて、みなさんと有意義な新子ども未来園にしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

【上原課長】

以上で、本日の委員会を終了させていただきます。

次回、第3回目の委員会は6月19日（土）午後1時30分より本日と同じ会場で開催させていただきます。資料については、事前に送付させていただきますので、

よろしくお願ひします。皆様には、お忙しい中、長時間にわたりご協議いただき誠にありがとうございました。お帰りの際には、交通事故等には十分気を付けていただきお帰りください。本日はありがとうございました。